

現場の管理者・作業員の
安心・安全・生活を守る最後の砦

墜落転落事故



衝撃分散型 親綱支柱

Relief Post

リリースポスト



一般社団法人 仮設工業会

認定取得+単品承認取得

一般財団法人

建材試験センター(西日本試験所)

性能評価試験確認済み

国土交通省 NETIS

登録番号 CG-230004-A

日本
国内初



EIMLab

株式会社 エイムラボ



現場の管理者・作業員の
安心・安全・生活を守る最後の砦

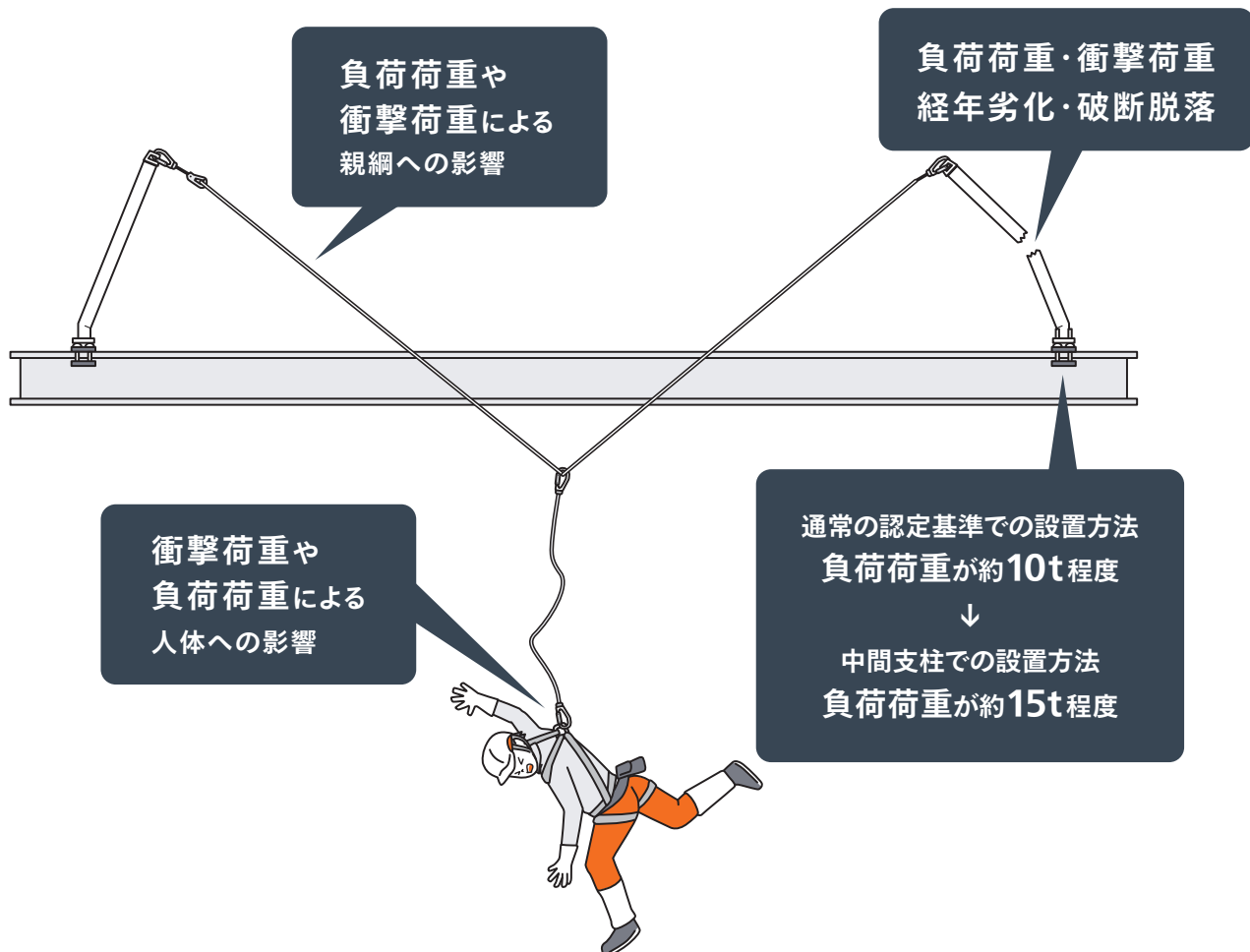
いまの親綱支柱で

本当に

建設現場は安全ですか？
人命を守ることができますか？



親綱支柱の問題点



＼重篤・死亡災害を招き、死亡に直結する可能性が！／
安全管理不足のため問題・課題が山積み

＼重篤・死亡災害に直結する／
負荷荷重・衝撃荷重

破断脱落

ランヤード破断

アブソーバ破損

使用基準の勘違い

破損・破断・脱落

親綱の破断

人体衝撃荷重超

狭小作業空間

衝撃による気絶

長時間の圧迫

墜落転落事故 ^{ゼロ}0 に挑む

衝撃分散型 親綱支柱 リーフポストで解決

3つの新構造



リーフポストは、新たな革新技術により、
これまでの課題や問題と危険リスクを改善しました。

リーフポストの
新構造



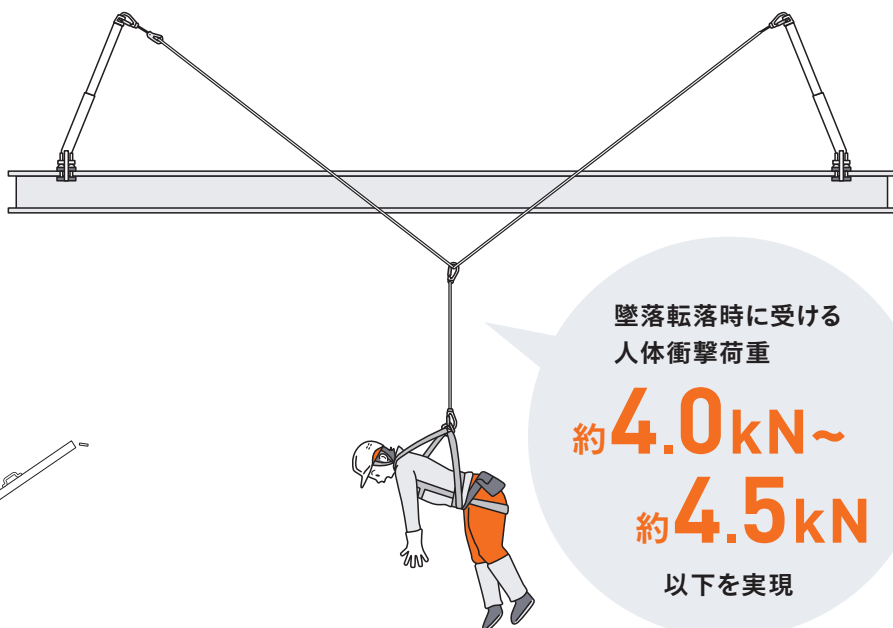
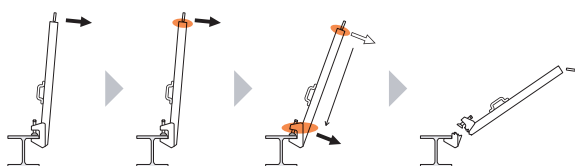
／ 資材と人体を守る革新技術 ／

衝撃分散構造

一般的な親綱支柱の場合

2か所で衝撃分散

一体構造の親綱支柱は直線的に
衝撃荷重と負荷荷重が掛かり
破損・破断・脱落しやすくなります。



墜落転落時に受ける
人体衝撃荷重

約 **4.0kN~**
約 **4.5kN**

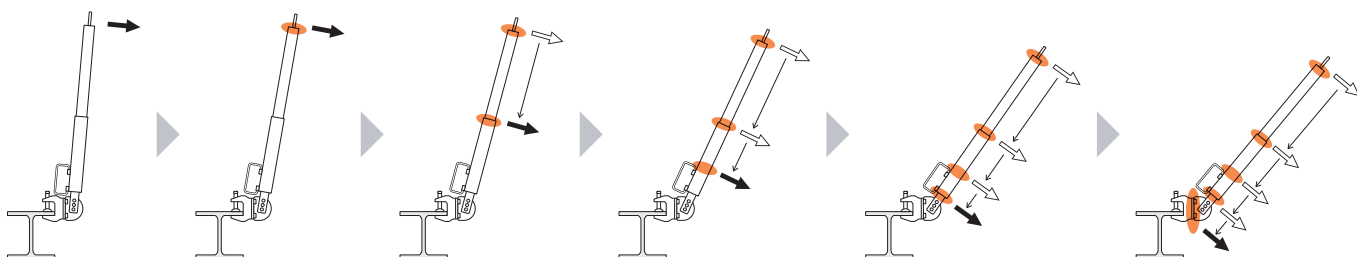
以下を実現

リーフポストの場合

5か所で衝撃分散

衝撃が分散されることで、発生する衝撃荷重と負荷荷重を軽減。
資材に与える影響を抑制し、破損や脱落の可能性を阻止します。

弓のようになる **柔構造**



リリーフポストの
新構造



作業空間を確保して墜落転落要因を解決 /

セットバック構造



リリーフポストを利用した
鳶職人や現場作業員の
98%が満足と感じています。



リリーフポストの
新構造



アルミと鉄でできた /

ハイブリッド構造

アルミは柔軟性と硬度
鉄は硬度と強度

材質性能と構造で衝撃分散を可能にしたハイブリッド構造となっています。

Al

+

Fe

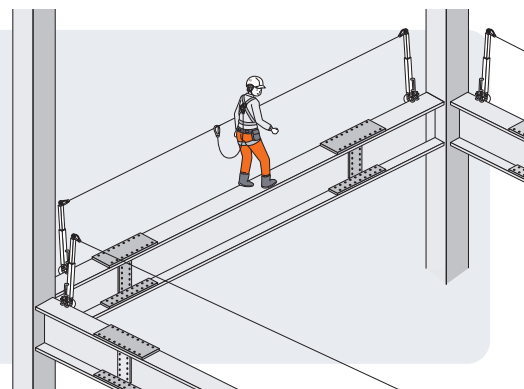
アルミ

鉄



長年未解決だった課題を**業界で唯一**解決!

リリーフポストは、[親綱] [墜落制止用器具]
そして[人体]に優しい構造を実現しています。





現場の管理者・作業員の安心・安全・生活を守る最後の砦

衝撃分散型 親網支柱

Relief Post

リリースポスト

性能評価試験結果から見る他社製品との比較

親網ロープを使用した落下阻止性能評価試験「認定基準」

〔試験条件〕重錘:100kg + ロードセル重量:10kg = 落下総重量:110kg 支柱スパン:10m

参考

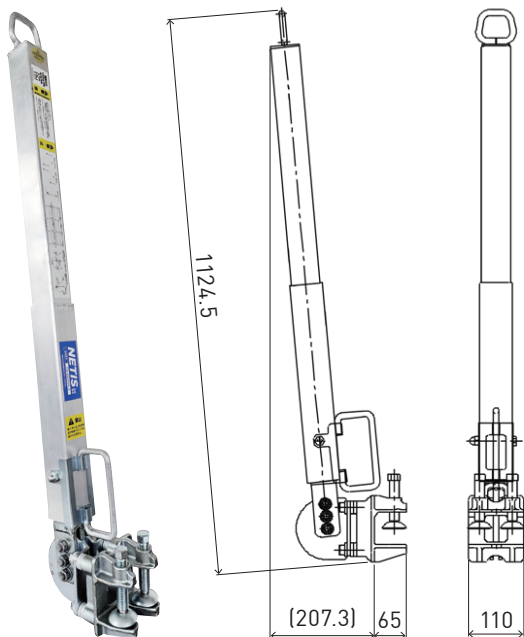
		他社品	リリースポスト 兼用タイプ	
取付方向		直交	直交	平行
試験方法		親網試験	親網試験	親網試験
荷重のかかる部位		人体	人体	人体
最大衝撃荷重(kN)		× 5.4 (規定以上の数値)	◎ 4.0	◎ 3.6
角度(°)	右	3.5	26.2	25.6
	左	13.7	30.5	25.4
垂下量(mm)		910	1475	1595

他社との比較

		他社品	リリースポスト 兼用タイプ
墜落転落時に発生する衝撃荷重		不明	基準あり
衝撃に適した材質を使用しているか		不明	基準あり
衝撃に適した構造規格となっているか		不明	基準あり
墜落転落時に人体に与える影響		不明	基準あり
限られたスペースでの作業性		作業空間がない	作業空間がある
墜落制止用器具が求める腰から上のフック位置		低い	腰から上を確保
転落距離に関する管理基準		(一社)仮設工業会の認定基準	(一社)仮設工業会の認定基準
厚生労働省が定めた人体への衝撃		不明	基準あり

一般的な親網支柱は、(一社)仮設工業会の認定基準だけとしています。

リリースポストは、(一社)仮設工業会の基準に加え、
(一財)建材試験センター(西日本試験所)で、性能の再確認試験を実施しています。



仕様

材質—アルミ・鉄 重量—9.9kg 全長—1124.5mm
取付可能板厚—12～40mm 許容荷重—100kg

全国へ拡大中

西日本を中心に全国へ
納入が加速しています！

本気で**人命**を守る。
本気で**建設現場**を支える。

半世紀以上変わらなかった「親綱支柱」に独自の技術でイノベーションを起こす。人命救済設備である親綱支柱は技術的な進歩が遅れています。あらゆる建物づくりの現場で源となる親綱支柱に変革を起こせば、世界にインパクトを与え、親綱支柱の国際基準が日本になる実現にも大きく寄与できる。株式会社エイムラボは、そんな壮大なビジョンに挑戦しています。

会社概要

会社名	株式会社エイムラボ
本社	〒740-0018 山口県岩国市麻里布町4丁目6-23-1F
代表者	代表取締役 浴野裕基
設立	2022年4月28日
事業内容	仮設資材の仕入れ及び販売 仮設資材の研究開発および 運用管理コンサルタント

[総販売元]



株式会社 エイムラボ

本社 〒740-0018 山口県岩国市麻里布町4丁目6-23-1F
広島オフィス 〒730-0841 広島県広島市中区舟入町6番2号2階

TEL:0827-28-6238 FAX:0827-28-6167

0120-016-214

www.eim-lab.jp

お問い合わせはこちらまで